

立教186年  
活動方針

「教祖のひながたを目標に  
全教会心定めの達成」

### ◇10月26日 本部秋季大祭 終了◇

「諭達」発布から1年 たすけ一条へ  
おちばでの行事が盛りだくさんでにぎやかな  
おちばがえりとなった。

### ◇ようばく一斉活動日 終了◇

10月29日(日)全国各地で第1回目が終了  
次回は来年6月1日(土)、2日(日)のどちらかと  
なっております。ぜひご参加下さい。



大教会のHP がご覧になれます！  
月報には掲載されない写真もいっぱいです！  
ぜひ一度ご覧下さい♪



発行所  
天理教網走大教会  
布教部出版広報掛  
〒093-0073  
網走市北3条西6丁目  
TEL 0152-43-2227  
FAX 0152-44-2227

## 大教会 秋季大祭

大教会秋季大祭は、12日午  
前9時30分から大教会長祭主  
のもと、執行された。

大教会長は祭文で、親神様  
の御守護に御礼申し上げた後、  
「九月一ヶ月のいをいかけ強  
調月では、より一層力を入れる  
中、年祭活動の大きな旬に  
様々と不思議な御守護を頂戴  
しましたことを厚く御礼申し  
上げます。又、九月は初席者  
三名、教人一名の御守護を賜



### 先達講習会

### 中西はつよ先生

10月12日祭典終了後、引き  
続き参拝場にて「先達講習会」  
が中西はつよ先生(琵琶支部  
長)を迎え開催された。  
中西先生は教祖のひながた  
のお話や、ご両親がコンゴ布

りましたこと重ねて心より御  
礼申し上げます。更には、本  
日祭典終了後、婦人会主催の  
先達講習会を開催させて頂き  
ますので、一人ひとりに気づ  
きをお見せ頂けますようお願い  
申し上げます。又、十月二  
十九日のようばく一斉活動日  
には、網走に繋がる者が一人  
でも多く各会場に参加できま  
すようお願い申し上げます。  
その後座りづとめ・十二下  
りのてをどりが勤められ、参  
拝者は共に勇んでみかぐらう  
たを唱和した。

◆教祖を感じて◆  
昨年暮れに主人である会  
長と私は大喧嘩致しました。  
年祭活動が始まる前年ですか  
ら、いよいよ年が明けたら年  
祭活動です。そんな時に大喧  
嘩してしまいました。頭では  
夫婦揃って、心揃えていかな  
いといけないのに、頭では分  
かっているんですが、心はな

かなか治まらずに、もうどう  
しようと思っておりました。  
そしたらそんなタイミング  
で婦人会本部から一本の電話  
が掛かってきました。女子青  
年の担当者講習会のお話の依  
頼でした。それだけでも私は  
びっくりしたのですが、「テー  
マを、いつも心に教祖をでお  
願います。」って言われた  
んです。  
もう私は思わず本音が出て  
しまいました「あの今、程遠  
いような日常を送っておりま  
すので」とつい言ってしまっ  
たのですが、落ち着いた声で  
「大丈夫です」と言われまし  
て、でもそのお陰で私は立ち  
止まることなく、微々たる一  
歩ですが前へ進むことができ、  
そして今こうしてこのような  
場に立っているんです。  
そんな私ですから、えらい  
こつちゃと、今更ながら勉強  
材料を引っ張り出して、どう  
しようと思っておりました。  
そんな時、嫁入り前に里の父  
から渡されました教祖から聞  
きし話と書かれた本に目が留  
まりました。  
懐かしさとその表題に思わ  
ず手に取りまして、開きます

とそこには「代重ね、理重ね。父より」と直筆の文字。そしてその隣のページには初代が

これには今回の御用のために目に留まるように先回りして下さったんだなと思うとなん

このように間違いのない教材を、ちゃんと寄せて下さるその親心を感じて、なんと勿

今年この婦人会総会の前日、またもや心に治まらぬ出来事がありまして、もう勝手にし

の時に限って、新品のスライサーでして、親指の皮をピッ

でも、そのお陰でまたもや沸点に達して吹きこぼれそう

このようにいつも先回りをして私たちの傍で導いて教えて下さっているんだなと、

若かりし頃、何かあるごとに父から「見るもいんねん、聞くもいんねん」と言うてな、

若かりし頃、何かあるごとに父から「見るもいんねん、聞くもいんねん」と言うてな、

せたり、聞かせたりしてくれてはるんやから、たとえテレビを見ててもなあ、ぼーっと

その時は聞き流していた言葉でしたが、今は本当にしみじみ噛み締めております。

昨年第三十回の女子青年大会で真柱様がメッセー

今現在、私たちは実際に教祖のお姿を拝することはできませんし、そのお声を聞くこ

今現在、私たちは実際に教祖のお姿を拝することはできませんし、そのお声を聞くこ

思うんです。それほどお道を通る者にとっては当たり前のこと

私は、昔言われた一言を思い出しました。それは御用方

そのような場所なので、お布巾がなかなか乾かないんです。そしてある時、あまりに

申しました後に一言「これな、こんなところに置いたらあか

申しました後に一言「これな、こんなところに置いたらあか

その言葉に若かった私は衝撃を受けたこと鮮明に覚えて

まさか日々、教祖にお遣いなされておられる、もと奥様の一言が私に生身の教祖を感じ

こへもいてはせんで。」とお声と教祖が歩かれていた姿を拝することができたのです。

女子青年大会で真柱様の「ひながたを示して通られたことを現在の自分の生活から

女子青年大会で真柱様の「ひながたを示して通られたことを現在の自分の生活から

◆ひながたとは◆

この度ご発布頂きました論達第四号に「教祖はひながたの道はまず貧に落ち切るところから始められた。」とござい

貧に落ち切るという点について、二代真柱様は「私たちは風呂へ入るために服を脱ぐが、それは目的ではなく、服

人間が何一つとして、足りないことがないように、水滴に至るまで何もかもお与え

て生かされている。そんな思いを、教祖を通して初めて私

教祖はお母さんになって一人ひとりに、この元を教えて

教祖のおひながたを見る姿は、助けを求めてくる人たちは勿論のことですけれども、ど

抱きかかえて、助かりたいばかりの心を、いつしか助けたい心へと変えて、真に助すか

きしんをするのも、活動するのも、どういう心ですかが

肝心であります。なぜならそれによって相手に映る姿、自

胸から胸へ伝えられて、代を重ねてその道が続いて今の私

◆両親のコンゴ布教◆

二代真柱様の御命で、両親がアフリカのコンゴの地で布

教生活を送る中で私は生まれました。言葉も習慣も風習も、

そんな中、父は、いつしか勇めなくなるんです。何故か。それは助かれば来なくなるか

それは、医者と一緒にいることは、病者と一緒だなど。病院は病気が治ったら行かない

思っただけです。

父はコンゴの人々に、誰が助けているのか、なぜ助かる

おたすけの心など、これらを伝えたいのに伝わらない。い

あまり、次第に父の純粹なおたすけの心に、モヤがかかっ

言葉が通じないせいや、常識が違うから、拳句の果てに

うのは後で父から聞きました。何とか父が縋りついて、治療

祈ることのできる身の幸せ、継ることのできる教祖が存命

陰で心配することなく、教祖に凭れられたんだと話してく

父が布教して戻りますと、コンゴの方数人が暗闇の中でロウソクを灯して何かをしている姿があったんです。初めは

かぐらづとめ、てをどりが勤められ、その後、真柱様があいさつに立たれ、秋季大祭を勤める元となった立教の元一日と、人間創造に込められた思召について諄々とお話下され、最後には、一人でも多く、ようぼくの自覚を持って動いてくれるように働きかけ、年祭活動が盛り上がりつつ、よう勇んで通ることを求めて、お言葉を締めくくられた。

また、大祭前日の25日には、境内地の除草ひのきしん、その後お願いづとめを参拝し、午後からはようぼく講習会が開催された。夕食には久しぶりに食堂で懇親会が行われ、カラオケなどで盛り上がった。

26日朝づとめ前には布教部主催の回廊ひのきしんなど、詰所もにぎやかなおちばがえりとなった。

25日10時から、本部西境内の除草ひのきしんをさせて頂いた。おちばでの伏せ込みにも勇んでつとめさせて頂いた。その後、本部で行われているお願いづとめを参拝させて頂き、詰所に戻らせて頂いた。

参加者25名



◎ようぼく講習会

25日、詰所2階大広間にて、ようぼく講習会。教祖のひなごがたから学ぶ縦の伝道というテーマで、桐谷善広准役員が講話し、その後、お話の内容について練り合いをさせて頂いた。

練り合いの内容は、信仰は家族に伝わっているか、また、信仰を伝えることは重要だと思ふかなどを、練り合わせて頂いた。

参加者30名



教祖140年祭

26日朝、布教部主催の回廊拭きひのきしんが行われた。38名の参加者が集まり、勇んで回廊拭きをさせて頂いた。回廊拭き終了後、教祖の朝のお出ましを拝させて頂き、朝づとめを参拝して詰所へ戻らせて頂いた。

立教186年人のご守護 心定め			
初席者	ようぼく	修養科修了者	教 人
69名	44名	34名	21名
成 果 (10月末現在)			
23名	6名	4名	4名

### 本部秋季大祭

10月26日、本部秋季大祭が中山大亮様を祭主に心地よい秋晴れが広がる中、厳かに執り行された。

かぐらづとめ、てをどりが勤められ、その後、真柱様があいさつに立たれ、秋季大祭を勤める元となった立教の元一日と、人間創造に込められた思召について諄々とお話下され、最後には、一人でも多く、ようぼくの自覚を持って動いてくれるように働きかけ、年祭活動が盛り上がりつつ、よう勇んで通ることを求めて、お言葉を締めくくられた。

また、大祭前日の25日には、境内地の除草ひのきしん、その後お願いづとめを参拝し、午後からはようぼく講習会が開催された。夕食には久しぶりに食堂で懇親会が行われ、カラオケなどで盛り上がった。

26日朝づとめ前には布教部主催の回廊ひのきしんなど、詰所もにぎやかなおちばがえりとなった。

でも人を助ける行いをするのが大切とお話下さり、中でもおつとめとおさづけは、一番大切なことと仰せ下さいました。そして人を助ける行いもおさづけを頂いていなくても、年齢に関係なく誰もが日常の中でできることです。とお言葉に、私はあの日お願いづとめをしてくれた、命の恩人であるコンゴの人達のことを思い出しておりました。

コンゴの人達はおさづけの理を戴きたくても、一生おちばに帰れない人がほとんどあります。でも私は思うんです。真に人を助けるといふことはどういふことなのか。真の助かりとは何なのか。そして私たちがおさづけの理を頂戴する意味を、今このコロナの感染や痛ましい社会情勢をお見せ頂く中で、改めておたすけの本質を問われているように思うのです。

教祖百四十年祭に向かって、いつも心に教祖を抱いて、道の上での先達となつてご恩報じの心で明るく勇んで、育成丹精の上に励ませて頂きましょう。

おふでさきに、しんちつが神の心のかなハねば、いかほど心つくしたるとも

とお教え下さっておりますが、教祖にお仕えしている身であること、お継りする心を忘れていたと、後に父が述懐しておりました。後日退院した母の手から、コンゴの人が私を抱きかかえて天高く掲げて、親神エラーと叫びながら街を歩いたそうです。神はここにいて、これが神だということに意味なんですね。

父が初めに一番伝えたかったことがちゃんと伝わっていません。これはもう奇跡だったんです。そしてやはり教祖は存命で働いて下さっている何よりの証拠であります。父からはよく、話が上手とか下手とかで伝わるのとは違う。相手の事を思つて誠実の心を神様が受け取つたなら、必ず伝わるんや。だからお前はやることやつたらええんや、とよく言われました。以前の総会で婦人会長様は、何から

来たように、どんどん不思議が現れ、私は鮮やかに助けて頂きました。

10月29日(日)、全国各地で『ようぼく一斉活動日』が実施された。

同じ地域に住むようぼくが集い、思召に心を揃え、互いに勇ませ合つて、ともに年祭活動の歩みを進める日として、年祭までに計5回開催される。今回は、第1回目が行われ、網走支部では、本部布教部長の松村登美和先生のビデオメッセージを見た後、八子道子先生(空知分教会前会長)の講話を聞かせて頂き、その後、ねりあいを見せて頂いた。

次回は来年6月1日(土)・6月2日(日)のどちらかの開催になりますので、詳細は各教会にお尋ね下さい。

今年8月からは、教祖のひながたを身近に感じさせて頂く目的から、参加者一人ひとり、稿本教祖伝逸話篇の番号が書かれた「くじ」を引き、そのお話を読んで、ひと月そのお話を心において通らせて頂くという試みを始めた。

ひながたMYカードという用紙に感想などを記入し、それを毎月に毎月、教祖のひながたの実践について、話し合いを行っている。

毎月、大教会月次祭の翌13日午前中に、部内教会長夫妻が、世話人毎のグループに分かれて、勉強会やねりあいを行っている。



◎回廊拭きひのきしん

26日朝、布教部主催の回廊拭きひのきしんが行われた。38名の参加者が集まり、勇んで回廊拭きをさせて頂いた。回廊拭き終了後、教祖の朝のお出ましを拝させて頂き、朝づとめを参拝して詰所へ戻らせて頂いた。

### ようぼく一斉活動日



10月29日(日)、全国各地で『ようぼく一斉活動日』が実施された。

同じ地域に住むようぼくが集い、思召に心を揃え、互いに勇ませ合つて、ともに年祭活動の歩みを進める日として、年祭までに計5回開催される。今回は、第1回目が行われ、網走支部では、本部布教部長の松村登美和先生のビデオメッセージを見た後、八子道子先生(空知分教会前会長)の講話を聞かせて頂き、その後、ねりあいを見せて頂いた。

次回は来年6月1日(土)・6月2日(日)のどちらかの開催になりますので、詳細は各教会にお尋ね下さい。

### ひながたMYカードで教祖のひながたを実践

毎月、大教会月次祭の翌13日午前中に、部内教会長夫妻が、世話人毎のグループに分かれて、勉強会やねりあいを行っている。

今年8月からは、教祖のひながたを身近に感じさせて頂く目的から、参加者一人ひとり、稿本教祖伝逸話篇の番号が書かれた「くじ」を引き、そのお話を読んで、ひと月そのお話を心において通らせて頂くという試みを始めた。

ひながたMYカードという用紙に感想などを記入し、それを毎月に毎月、教祖のひながたの実践について、話し合いを行っている。

### 修養科事前研修会

#### よろこびセミナーを受講して

修養科事前研修会を受講して  
常呂 野村 秀子 (現在修養中)

とても参考になりました。ありがとうございます。これからはもっと努力しなくてはいけないなと、思う気持ちです。これからもいろいろなことを教えて頂きながら、少しでも自分が成長できるように努力して頑張りたいです。

常呂 藤井 道恵 (現在修養中)

今まで長い間お道を通つて来て、忘れていたこともあり、改めて気付いたこともたくさんありました。信仰をこれからしたいなあという人もこの研修会を受けて天理教の教えはすばらしいなあと思うと思います。自分では人に伝えることの難しさをいつも思っていますので、短い時間で、これだけのことを教えて下さつてありがたいです。有難うございました。

誠綱 馬道奈緒子  
小笠原敏子さんから是非参加してみたら、というお話を

何ってしました。

参加させて頂き、きっかけはそれぞれで、同じ時間に自分以外の方のたすかりを願つたり、参加の方の心が一つとなつて、有難い二泊三日の研修会でした。まだまだ私の、伸びしろがありそうです。心の成人をもつともつとできるようなおたすけさせて頂こうと思ひました。

動 静

年 祭

▼直轄所属・山崎紘一の霊様の30年祭が10月17日、網走市の自宅にて瀬川定自・直轄世話人祭主のもと執行された。

▼常呂分教会所属・黒田實の霊様の5年祭が10月15日、東京都東久留米市の自宅にて藤井広志常呂分教会長祭主のもと執行された。

10月人のご守護

○初席者 (4名)

陽 光 桐谷実咲  
誠 網 小池咲綾

○中席者 (8名)

直 轄 浅田幸斗  
陽 光 山川真斗  
常 呂 野村秀子

誠 網 新川愛貴  
網 新 木沢巴菜

網 次 秋山志織  
誠 央 加賀谷和子

○教人資格検定講習会受講者 (全期) (1名)

誠 央 加賀谷和子

○教会長資格検定講習会修了者 (1名)

者 (1名) 武士 村井 実

○教人登録者

實 東 吉田 廣江

○別席傍聴願

○お守り下附願 (1名)

育英会寄付者

伊東真由美様 (夫葬儀)

宗雅分教会様 (志)

誠央分教会様 (三代会長十年祭)

山崎葛代様 (夫30年祭)

大教会10月の動き

1日 役員会。直轄世話人会。縦の伝道日

4日 神殿上段大掃除

7日 会長夫妻、誠央分教会三代会長10年祭参加

8日 お話し会。縦の伝道日

9日 網走支部例会会場

10日 役員会会議

11日 教祖140年祭網走おたすけ委員会会議

12日 秋季大祭。先達講習会 (婦人会)。役員

会会議。連絡会

教会長夫妻練り合い。参拝場、廻廊大掃除。修養科事前研修会 (15日まで)

縦の伝道日

会長、上級参拝、関東信者まわり

会長、館山分教会秋季大祭参拝

会長、嶽東大教会参拝

会長、札幌信者まわり (21日まで)

縦の伝道日

会長、おぢばがえり。詰所23会

会長、本部神殿奉仕つとめる

五季御礼。会長、本部災救隊会議出席。

おぢば講習会 (詰所) 本部秋季大祭遙拝。

会長、教区主事会出席。結城和広役員、本部神殿奉仕つとめる

会長、かなめ会出席。細木善信役員、本部神殿奉仕つとめる

ようばく一斉活動日

みそか会。直轄世話人会

立教186(令和5)年人のご守護成果表 (10月末現在)

Table with columns for church names, membership status (初席, 中席, etc.), and cumulative counts (当月, 累計).

秋季大祭 10/12(木)

Table detailing the Autumn Festival (10/12) with columns for participants, roles (祭主, 指図方, etc.), and specific activities.